

天使は、彼女のところにきて言うた。「おめでと、恵まれた方、主があなを共におられる。」
ルカ1章28節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

10月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：日曜日と感謝の祭儀
- ②宣教の意向：宣教の精神
- ③日本教会の意向：日本における福音宣教の推進

聖公会カンタベリー大主教長崎訪問 高見三明大司教とも合同祈禱会

日本聖公会の宣教150周年記念礼拝出席のため来日していたイギリス・カンタベリー教会のローワン・ウィリアムズ大主教が、9月20日から東京での日程を終え、24日長崎入りした。長崎訪問の目的は、核廃絶と世界平和を願い、祈ること。

大主教は植松 誠首座主教、五十嵐正司九州教区主教らとともに午後3時に爆心地公園を訪ね、原子爆弾の落下中心碑で献花し、集まった聖公会司祭年に当たって



また集まった人々に核廃絶と世界平和を願うメッセージを読み上げた。暴力による勝利には、すべての人の敗北があるだけで、どこにも勝利はない。原子爆弾の悲劇は、そのことを表している。大主教一行はその後如己堂に移動、永井徳三郎館長の説明に耳を傾けた。午後4時半、浦上教会で高見三明大司教はじめ250人余の参列者と「みことばの祭儀」形式での司祭集会の充実が求められています。具体的日程は10月6日(長崎北地区)13日(長崎南地区)20日(長崎中地区)26日(下五島地区)で実施し、その他の地区については現在調整しています。(2)司祭と司祭とのかわり地区によつては修道司祭との協力が求められることも多い中で、毎月行われているコンベンツ

合同祈禱会に臨み、聖公会(イギリス国教会)とカトリック教会とが一つになって祈る機会を得た。同大主教(写真右)は



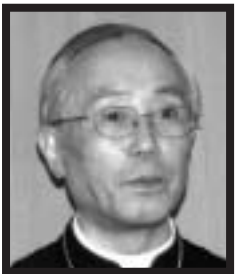
司祭年にかかわりを深め、宣教司牧をより効果的にしたいとの考えです。司祭と司祭とのかわり地区によつては修道司祭との協力が求められることも多い中で、毎月行われているコンベンツ

司祭年にかかわりを深め、宣教司牧をより効果的にしたいとの考えです。司祭と司祭とのかわり地区によつては修道司祭との協力が求められることも多い中で、毎月行われているコンベンツ

司祭年にかかわりを深め、宣教司牧をより効果的にしたいとの考えです。司祭と司祭とのかわり地区によつては修道司祭との協力が求められることも多い中で、毎月行われているコンベンツ

司祭年にかかわりを深め、宣教司牧をより効果的にしたいとの考えです。司祭と司祭とのかわり地区によつては修道司祭との協力が求められることも多い中で、毎月行われているコンベンツ

深堀 敏 前高松教区司教 帰天



略歴 1924年10月8日、長崎で男8人・女1人の3男として生まれる。42年3月福岡市・私立泰星中学校卒業、同年4月福岡カトリック大神学院予

略歴

前高松教区長・ヨセフ 深堀 敏司教が、9月24日15時27分に、イエズスの聖心病院(熊本県)ホスピスにて、腎臓がんのために帰天した。享年84

科入学、49年3月から5年間、カナダのモントリオールに留学。51年12月22日司祭叙階。54年9月福岡司教館勤務。70年4月福岡・私立泰星高等学校(副校長)74年4月福岡市浄水通教会(主任司祭)75年8月熊本市帯山教会(主任司祭)77年9月司教叙階・高松教区司教に任命、2004年5月高松教区司教引退。引退後、福岡教区・手取教会(熊本)で生活。

9月28日の教区顧問会での同意に基づき、今年から毎年、11月の第1日曜日に、亡くなった司教・司祭・助祭・修道者・信徒すべてのために大司教司式のもとにミサをささげる。今年は11月1日(日)午後3時から、浦上司教座聖堂で実施される。できる限り参加してほしい。

死者の月に当たり全教区民のため追悼ミサ

9月28日の教区顧問会での同意に基づき、今年から毎年、11月の第1日曜日に、亡くなった司教・司祭・助祭・修道者・信徒すべてのために大司教司式のもとにミサをささげる。今年は11月1日(日)午後3時から、浦上司教座聖堂で実施される。できる限り参加してほしい。

「ながさき巡礼月間」11月28日から始まる

昨年11月24日の「ペトロ岐部と187殉教者列福式」1周年を記念し、11月下旬から4週にわたる(土)ごとに「巡礼」および「講演とミサ」を教区主催で行うことになった。特に司祭年に当たり188福者の4人の司祭から、その霊性を学ぶ機会となるよう意図している。各回とも「講演とミサ」(下表の通り)前日の土曜日に、講演テーマに沿った「巡礼」を行う。巡礼の日程は11月28日、12月5日、12日、19日のいずれも13時から。巡礼コースなど詳細(問い合わせ・長崎巡礼センター)TEL 095-1842-123(93)は11月号に掲載する。

教区報「よきおとずれ」11月号はペトロ岐部と187殉教者列福式1周年の特集記事を掲載します。紙面は通常通り4ページです。どうぞお楽しみに編集長 中田輝次

ながさき巡礼月間「講演とミサ」(各回とも講演は13時、ミサは14時30分からの予定)

月 日	会 場	福者名(講演テーマ)	講 演 者	ミサ司式者
11月29日(日)	浦上教会	ペトロ岐部かすい	デ・ルカ・レンゾ師(日本26聖人記念館館長)	高見大司教
12月6日(日)	中町教会	ジュリアン中浦	古巣 馨師(列聖列福特別委員会委員)	高見大司教
12月13日(日)	城山教会	トマス金鐸次兵衛	今田昌樹師(聖アウグスチノ修道会日本分区分長)	高見大司教
12月20日(日)	大浦教会	ディオゴ結城了雪	溝部 脩司教(列聖列福特別委員会委員長)	溝部 司教

お知らせ

9月1日からカトリックセンター事業部の新体制に伴い、カトリックセンター内の電話・ファックス番号が一部変更しましたので、お知らせいたします。

カトリックセンター(代表番号)
TEL (旧) 095-846-4246 → (新) 095-846-4248
※FAX 095-848-8310 は変更ありません。

教区・法人会計事務室
TEL (旧) 095-846-4246 → (新) 095-846-4248、095-846-6011
※FAX 095-848-8310 は変更ありません。

宿泊部
TEL 095-846-4246 は宿泊部専用の番号です。
※FAX 095-846-2822 は変更ありません。

日本二十六聖人殉教者に関連する標語を募集します

長崎南地区評議会では来年2月7日(日)の「日本二十六聖人殉教記念ミサ」において、毎年開かれるこの行事にふさわしい標語の横断幕を掲げることにしました。その標語を、一般に広く関心を持っていただく機会とし公募します。どうぞふるってご応募ください。

1. 規定文字数 15文字程度
2. 設置場所 日本二十六聖人記念館 2階(建物の外壁に横断幕掲示)
※横断幕のサイズは縦約2.5m×横約16m。長崎教区の公式シンボルマークおよび標語など掲載予定。
3. 応募方法 はがきに「標語・教会名・住所・氏名・年齢」をご記入の上、下記へ郵送ください。
4. 締め切り 2009年10月末日(必着)
5. 選 考 標語は1点選考し、発表は教区報「よきおとずれ」紙面にて。
※採用分には、記念品を贈呈します。
6. 応募・問い合わせ先 〒850-0055 長崎市中町1-13 カトリック中町教会 気付
長崎南地区評議会 日本二十六聖人殉教記念ミサ 標語係
(TEL) 095-823-2484

10月18日、フランスとイタリアで

10月18日世界宣教の日。国営テレビ「フランス2」が浦上教会でのミサをフランスに生中継する。視聴者が日本のカトリック信者と出会い、原爆犠牲者を思い平和のために祈るよう招きたいとのテレビ側からの依頼による。現地時間の午前11時に合わせ、午後5時56分から約1時間ミサが行われる。

高見三明大司教主司式。また、ローマのサンタ・マリア・デッロルト教会では同18日、中浦ジュリアンの絵(三牧権子氏作)が脇祭壇に掲げられ、ラヨロ枢機卿により祝福される。天正遣欧少年使節が訪れた教会の1つで、現地ではゆかりある福者の絵の到着が待たれている。

先月8日に地区の司祭会議が開かれ、地区としての「司祭年」という議題になった時、ユーモアを交えて「日曜日の午後司祭に会いに行こう」というのはどうかと提案した。実は同じ地区では過ぎたパウロ年期間中に「日曜日の午後、聖パウロに会いに行こう」という企画を打っていた。いわばその真似である▼アイデアは良かったらしく、大先輩から次のような支持を頂いた「教会の中で司祭がいちばん回心しない人種だ。だから司祭みなで巡礼に行つて振り返りをするとか、その程度で司祭は回心しないと思う。むしろ、信徒のために何かを表明して、後戻りできない状況を作ったほうが、信徒の力で回心をさせてもらうことができるのではないか」▼「これも言うてくださった。」「われわれの地区は教区も修道会もたくさんいるらっしゃるから、多様な司祭の話を聞ける利点がある。信徒を前にして司祭の反省を語るといつても、結局きれいにまとめ話をするに違いない。それでも、告白の目撃者がいるのだから、司祭は話した内容に反する生き方はできないはず。司祭年の取り組みとして一考に値するのではないか」▼この日、結論には至らなかったが、10月も取り上げてもらえるらしい。社員教育もない、新人研修も受けたことがない、ましてや懲戒免職もない司祭たちが、司祭年を機にどこまで変われるか。大いに期待したい。

よきおとずれ

聖トマス西と長崎殉教者
祈りと讃美・記念ミサ

今年の殉教記念ミサは、
本来の記念日の前日とな
る9月27日(日)に西坂
殉教者記念公園から中町
教会へのロザリオ行列で
開始された。



ロザリオ行列をし
た後、聖堂内で聖トマ
ス宣教師会友の日本管
区長池田愛子修道士を講
師に、「行き詰まりから
出発して原点へ」と題す
る講話を聞いた。講話の
中で、「大村の聖マリナ



の家庭は、迫害を受けて
いるキリシタンをかくま
い、保護していました。
現代、違う形で行き場を
失っている人がいて、そ

の人々に温かい手を差し
伸べるのが聖人たちの
生き方を見倣う方法では
ないでしょうか」と具体
的なヒントを頂いた。

最後に、中町教会にあ
る殉教者記念碑の前で献
花を行い、高見大司教の
代わりに主司式を務めた
小島 栄司教総代理のも
と、司祭・信徒合わせて
280余人が記念ミサに
参加し、殉教者の生き方
に倣う力を願った。

信仰養成講座で
共に学びませんか

土曜日の19時からカト
リックセンター講堂で開
かれていて、教区生涯養
成委員会主催の信仰養成
講座は、9月から「日本
の教会史」(全10回)を取
り上げている。講師は
デ・ルカ・レンゾ師。

興味深いテーマのよう
で、1講義単位で申し込
む人も。10月以降は「日
本の権力者と宣教師の関
係」「迫害時代。殉教転
び・潜伏」「明治後の教会
発見・確認・復活」など
の内容を予定している。

「日本の教会史」は、10
月17日と11月21日を除く
毎週土曜日で11月28日ま
で。年内の講義は、12月
5日と12日の「第2パチ
カン公会議と近代日本の
教会」(講師・高見三司大
司教)で終了する。1科

目聴講も可能。問い合わせ
は同委員会(TEL 095
-841-7731)へ。

アジア(ASIPA)
第5回総会に
大きな期待

アジア司教協議会連盟
(FABC)は、第5回
アジア総会を2009年
10月20日から28日まで、
フィリピンのダバオ市で



「カトリック教会の諸宗教対話の手引き
—実践Q&A—」出版記念シンポジウム

日 時 11月14日(土) 14:00~17:00
会 場 長崎カトリックセンター ホール
入場無料
第1部 『カトリック教会の諸宗教対話の手引き』の紹介
大塚喜直(諸宗教部門 責任司教)
園田善昭(同部門 委員)、他 委員
第2部 シンポジウム
「諸宗教対話の具体的な実践について」
宮田文嗣(長崎諏訪神社)
三浦達也(浄土真宗本願寺派)
岡原良之(立正佼成会)
高見三司(諸宗教部門 担当司教)
司会 野下千年(長崎大司教区諸宗教委員会委員長)
主催・問合先 日本カトリック司教協議会 諸宗教部門
(TEL) 03-5632-4445 (FAX) 03-5632-4465

開催する。テーマは、
「私の記念としてこのよ
うに行いなさい」一裂か
れたパンとみことばの分
かち合い。日本からも長
崎教区4人を含め計10人
の代表が出席する。
アジア(ASIPA)

- ▼島原・天草 ①聖体礼拝
と黙想 10月10日(土)11時
11日(日)11時 ②列福記念ミ
サ 10月11日(日)13時~14時
半 南有馬町原城本丸跡
問合先・島原教会
TEL 0957(62) 2952
▼公開聖書講座「ルカ福音
書と聖パウロ」 10月15日
(木)19時~20時半 カトリッ
クセンター 講師・江川
憲師
問合先・生涯養成委員会
TEL 095(84) 7731
▼イエズス会立山修道院お
知らせ ●祈りの一日 ①
10月17日(土) ②10月26日(月)
③11月16日(月) 9時50分~
15時半 ●ともに祈る日々
①10月17日(土)~18日(日) ②
11月14日(土)~15日(日) 初日
17時~翌日15時
▼第34回大村殉教祭 10月
18日(日)13時 大村市民会館
18日(日)13時 大村市民会館
テーマ「はじまり ガリラ
ヤ・ふたたび」ミサ後、
放虎原殉教地まで徒歩巡礼
をします。
▼長崎純心レクチャーズ
10月19日(月)~21日(水) 15時
~17時 長崎純心大学コミ
ュニケーションセンター
演題「核の時代における平
和論 医療の現場から」
講師・山下俊一氏 参加無
料 ※1日のみ可
申込先(10月13日締切)同
大学キリスト教文化研究所
久保
TEL 095(846) 0084
- メール kubo@n-junsin.ac.jp
▼牢屋の殉教者記念祭 10
月25日(日)13時 牢屋の窄
(五島市久賀島)
▼講演会「ガウディという
未来」 10月28日(水)19時
浦上教会 講師・外尾悦郎
氏(サグラダ・ファミリア
教会 主任彫刻家)
▼124回クルシヨ 10
月31日(土)~11月3日(火)
エズス会立山修道院
問合先・長浦ヒロ子
TEL 095(87) 2910
▼黒瀬の辻殉教祭 11月1
日(日)14時 生月町黒瀬の辻
問合先・山田教会
TEL 0950(53) 0832
- 濱口和子様(小ヶ倉
●川崎敏昭様
(兵庫県西宮市・夙川)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。
長崎カトリック神学院
- 香典返し
お礼とご報告
- 長崎コレジオ
●田口チズ子様(飽の浦)
●故マリア田口ユス様
●坪内俊一郎様(大浦)
●故マリア坪内茂美様
右の方々から神学生養
成のために、香典返しに
代えてご芳志を賜りまし
た。お礼とご報告を申し
上げますとともに故人の
ごめい福を心からお祈り
申し上げます。

平成22年度 園児・児童・生徒募集
Love to learn and Learn to love
第2回 小中オープンスクール
11月21日(土)
9:00~11:00 音楽祭
11:30~12:10 学校説明会
12:30~ 給食試食会(無料)
幼稚園 園公開
10月16日(金)
9:30~ 公開保育
11:00~ 入園説明会
幼稚園 TEL 095-844-2667
小中学校 TEL 095-844-1549
http://www1.cncm.ne.jp/~st-maria/

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備
(有)小田警備保障
警備員募集!
電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523
長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 テレジア 小田寿美子
専務取締役 パウロ 小田 睦
なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル
石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

《ベトリ口岐部と187殉教者列福記念墓地》
「カトリック長崎中央墓園」
平坦地
バリアフリー仕様
(全区域 車椅子対応設計)
駐車場26台以上
ゴミステーション完備
トイレ・給水設備完備
列福式1周年記念にあたり
「列福式記念建立」などの
刻字・刻図をサービスします。
●個人用納骨櫃(石櫃3段組)もあります。
お問い合わせ カトリック中町教会
☎095-823-2484
●所在地:長崎市田中町3450番6~7
●区画/規格:1.5m×2.0m 3.0m²
1区画 墓礎 150万円
(永代使用料含む)
自由区画もあります。
●付帯設備:雨雪避難所、照明灯、
外灯、管理棟

米沢の殉教者の学びに
「サムライたちの殉教」
ペトリ口岐部
と187殉教
者の列福式を
前に、新潟教
区は米沢の53
人の殉教者に
ついての書物
を刊行してい
たが、このほ
どドン・ボス
イス甘糟右衛門をリー
ダーとする米沢教会の
されることになった。
武士の身分であつたル
ベトリ口岐部
と187殉教
者の列福式を
前に、新潟教
区は米沢の53
人の殉教者に
ついての書物
を刊行してい
たが、このほ
どドン・ボス
イス甘糟右衛門をリー
ダーとする米沢教会の

この時期は特に充実して
いた時期だったと思いま
す。南山の仕事に院長の
仕事が増えましたが、神学
生たちがいつもそばにい
てくれたおかげで「この
子たちのためにも頑張ろ
う」という元気が湧いて
きました。
マザーテレサの事例を
出すのは、非常に恐れ多
いのですが、「祈りの時
間を増やすことによつて
今までの倍の仕事ができ
るようになった」という
彼女の言葉が何を言わん
としているのか、この6
年間で少しはわかったよ
うな気がします。
そして皆さんもご承知
のように、昨年の春から
南山の校長に就任したた
め、3度修道院に居を移
すことになりました。校
長になって1年半、いま

神学生の指導司祭と兼任
で南山に勤めた関係上ル
ドヴィコで過ごしました。
その後また修道院に戻
り、宗教と英語の2科目
を南山で教えるようにな
りました。年を追うにつ
れて英語の授業時間がぐ
んと増え、クラス担任
司祭年 連載企画
「司祭が司祭であるために」④
必要な恵みは
与えられる
松本 勝男
の仕事も回ってきたので、
このまま南山専任の生活
が続くかと思っていまし
たが、この2度目の修道
院での生活にも5年半で
ピリオドが打たれること
になりました。
数えてみると長崎での
生活が始まって12年目を
迎えています。

月日の流れは本当には
やいもので、わたしが長
崎に住むようになって19
年目を迎えています。故
郷の秋田の親元で高校卒
業まで18年間、名古屋で
大神学校生活を9年間、
そして司祭に叙階されて
からは、ずっとこの長崎
南山学園の敷地内で生活
しています。このように
書くといわしの年齢がば
れてしましますが、いつ
の間にかわたしの人生の
中では、長崎での生活が
一番長くなつてしまいま
した。
長崎に住むようになって
から、南山の敷地内に
ある修道院(教師館)と
聖ルドヴィコ神学院の間
を2往復しました。4回
引越したのです。
初めの3年は南山の宗
教の専任教員として修道
院で過ごし次の2年半は

（青少年委）



分ち報告会を行った。

殉教祭
(田平)

で、地区の司祭団と30



物資を11人の代表者が自
— スさまのお計らいだろう



までの道のりは短くな



れません」。05年のクリ

長崎純心聖母

総長 山野アヤ子

典礼講座
「ミサを初め」

12

した。多くの祈りに支
ア修道会修道女1

にあるもの。儀式を構成

のときを共に過ごした。

横江の学生が長崎を学ぶ

長崎巡礼センター

た長崎巡礼センターが浦かけて巡った。



と思われる例も多く寄せ



静かに祈ります

く大聖堂にレプリカ設置く

小聖堂を参観する観光客

KITAHARA
自分

もてました。旅先での素



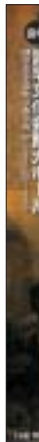
ぼち進みます。

神戸 家族3人で来まし

が出来ますように。

一菜募金から200万円送金

けて教区評議會は、支援金した。



主于問

離崎した。

と感謝を述べた。

